

奈良女子大学
古代学学術研究センター

第7回月例研究会

日時：2011年1月11日（火）16：30～

場所：生活環境学部会議室（生環A棟1階）

内容：「日本の古代都市における儀礼空間」

上野 邦一（古代学学術研究センター特任教授）

日本の古代都市に南郊壇、社稷壇、太廟がないことは、よく知られている。しかし、その背景や意味についてはまだ考えるべき問題があるように思われる。日本、朝鮮、ベトナムは、それぞれ中国からの影響を大きく受けて古代都市を建設したにもかかわらず、日本の古代都市には南郊壇、社稷壇、太廟がなく、朝鮮・ベトナムの古代都市には南郊壇、社稷壇、太廟がある。そこで、南郊壇、社稷壇、太廟など、中国の歴代の都市において、宮殿域内や宮殿域外にある国家儀式を行う場所・建物が、日本の歴代の都市にはなく、朝鮮・ベトナムの歴代の都市にあることを指摘し、その意味を考えてみた。

私は近年、ハノイのタンロン皇城遺跡の調査に関わり、ベトナムの歴代の都市には南郊壇、社稷壇、太廟などがあることを知り、日越、日中、中越の古代都市の比較考察を進めている。考察の途中であるが、考え及んでいることを報告する。

ご自由にご参加下さい